

2019年8月7日

(報道発表資料)

ふじみ野市立上野台小学校
NTT東日本 埼玉事業部 埼玉西支店

小学生向け『コミュニケーションロボットを活用した 「プログラミング体験教室」』を実施！

～ 開催テーマ：『接客ロボットをプログラミングしよう！』～

ふじみ野市立上野台小学校(校長:齊藤 実、以下「上野台小」とNTT東日本 埼玉事業部 埼玉西支店(支店長:堀木 純一、以下「NTT東日本 埼玉西支店」)は、「上野台小サマーチャレンジ2019」の一環として、プログラミング体験教室を開催いたしました。

ふじみ野市の文化・スポーツ振興課をはじめ市長部局やPTA、学校応援団、地域の諸団体、企業、各種学校等が連携してサマーチャレンジを実施し、夏休みの自由研究のテーマになるような子供たちの好奇心を呼び起こす内容となっております。

NTT東日本 埼玉西支店では、社会貢献活動を積極的かつ継続的に展開し、教育・文化振興およびICTを活用した取り組みとして、次代を担う子どもたちのメディアリテラシー育成に協力いたします。

詳細については、以下のとおりです。

1. 開催概要

- (1)開催テーマ 『接客ロボットをプログラミングしよう！』
- (2)開催日時 2019年8月1日(木)13:30～16:00
- (3)開催場所 ふじみ野市立上野台小学校 第3校舎2階 理科室
(埼玉県ふじみ野市福岡1-2-1)
- (4)参加者 小学生5年生・6年生(34名)および保護者
- (5)講師 NTT東日本 埼玉事業部 埼玉西支店 社員

2. プログラミング体験教室の内容

(1)体験のコンセプト

①楽しく学ぶ

・「話す」「動く」コミュニケーションロボットを扱うことで、楽しみながらプログラミングの考え方を学びました。

②先端技術に触れる

・学習用機器ではなく、実際の社会での活用や様々な実証実験が行われているコミュニケーションロボットを扱うことで、ICT・科学技術全般への興味・関心を促進します。

③プログラミングの考え方を学ぶ

・ブロックを組み合わせてロボットを動作させることで、「プログラミング的思考」を体感的に学びました。

④論理的思考、表現方法を学ぶ

・接客でのロボット活用を考える(どう表現、伝達させるか)ことで「論理的思考」「表現力」を実用的に学びました。

(2)体験の構成

- ①プログラミングとは。
- ②「Sota」が接客するお店を決めよう。
- ③メニュー表をつくろう。
- ④プログラミングを練習してみよう。
- ⑤接客ロボットのプログラムを作成してみよう。
- ⑥接客ロボットをみんなに紹介しよう。
- ⑦発表会を実施。

花束を買いた
いのですか？



バラにしますか？
ひまわりにしますか？



3.その他

夏休みの自由研究にも活用できます。

- ・体験で取り組んでいる様子、作ったプログラムの画面キャプチャ等の各種画像データを児童ごとにお渡しました。
- ・データを写真化し、プログラミング体験の内容をまとめれば、素敵な自由研究になります。

■ 当日使用するコミュニケーションロボットとプログラミング学習ソフト

【コミュニケーションロボット】

Sota®

*「Sota®」はヴイストン株式会社の登録商標です。



■ 特徴

- ・可愛い声や動きで表現力も豊かで、児童達の興味を喚起します。
- ・大きさも約 28cm と児童でも取り扱いやすいサイズ感です。

■ Sota®と連携するブロックプログラミングアプリ「ロボットラーニング」

*「ロボットラーニング」は AI ロボットコミュニケーション株式会社のサービスです。

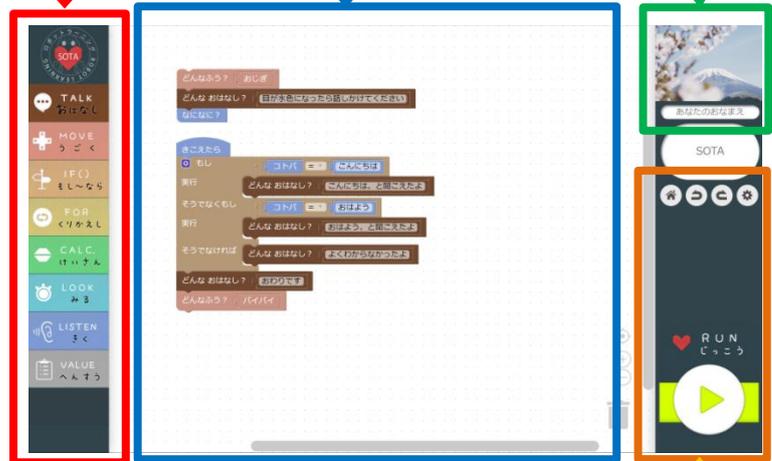
Google®の Blockly®をベースに Sota®用の機能を追加したビジュアルプログラミング環境です。



命令フィールド

プログラム作成フィールド

画像認識・聞き取りフィールド



操作ボタンフィールド

■ 特徴

- ・ブロックを組み合わせるだけで、簡単に「Sota」を動作、発話させることができます。

【プログラミング教室 開催模様】

